



「人とつながる！ほっとする！」

Let's Output

足を運びたくなる学校へ



本校では、児童のアウトプット力を育むことで、人とつながり、認め合い、和やかな雰囲気を広げ合うことができると考えた。また、アウトプット力を高める様々な取組の延長線上に、問題行動の未然防止や不登校の減少があると仮定。生徒指導の4つの視点に価値づけをした、本校の取組を紹介します！



学校目標

新しい時代を拓き、たくましく生き抜くための確かな学力と、豊かな心を備えた心身ともに健康な児童の育成



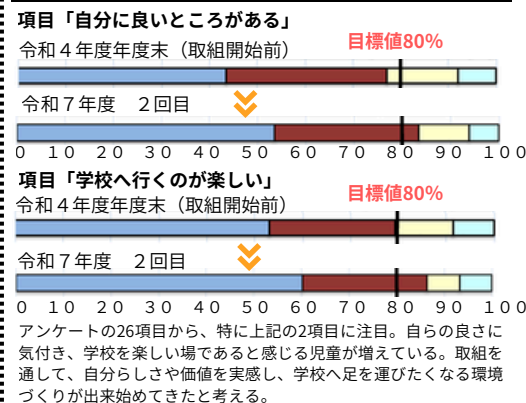
「つなげ・つなぎ・つながる」取組

漢字博士	3年生～6年生、通年実施。新出漢字を児童がミニ先生となり教える。理解を深め、発表することで認められる場を作り、教わる側も身近な友達に気軽に質問でき、安心感を持ち学べる。	めてぶれふ	3年～6年、通年実施。漢字の宿題を「めあて・テスト・分析・練習・ふりえり」の5つのステップを繰り返す主体的な学習サイクルで学習を進める。
ペア交流	年3回実施。休み時間に、2学年ずつ交流。交流を通して、互いに認め合い活動することや高学年(4年生～6年生)のリーダー性を育む。	SDGs世界同時授業	5・6年生、年1回実施。他府県や海外の児童と自分達の町の魅力について交流。オンラインで様々な児童と関わりを持つことで、児童につながる喜びを実感させ、主体的に学びに向かう児童を育む。
縦割り遊びウォークラリー	年3回実施。集団活動を通して、より良い人間関係の大切さを理解し、互いに認め合う。	自主学習	2年生3学期～6年生対象、通年実施。宿題として、コツコツ(漢字計算等の基本)・ハリキリ(テスト勉強や予習)・ワクワク(興味のあること)3つのメニューで主体的に学習する。
話し合い活動	通年実施。各学年で型や実施方法を工夫。傾聴と対話から互いに認め合える関係を築く。	オンライン交流	3年生～6年生を対象に、年数回実施。中学校ブロック、他市町と他府県と交流。自分の考えを伝えたり、友達の見解を認めたりすることで人とつながる喜びを実感させる。
自主学習交流	学期に1度実施。学年でペアを作り、付箋に良さを書き、貼り付け評価し合う。学年を超え共に成長し合える関係を築き、自らの学習意欲につなげる。	ほっとルーム	学級以外のほっとする居場所になる別室登校できる場。保健室の横に設置し、様々な教員が児童と関わりを持ち、学習や学級に戻れるようにサポートする。



アンケートの分析と成果

各学年、項目毎に結果は異なるが、全体的に見ると1年目よりも2年目は上がり、3年目は緩やかに下降傾向にある。3年目の下がり方は、児童の意識も高まり、より厳しく自分達について評価できるようになった側面もあると考える。



次へのステップ

今後は…
本校での児童の姿や学校の魅力を、より保護者や地域へ共有・発信!!



地域で子ども達を育て見守る意識を広げ、児童の成長を支え、安心して学び、伸び伸びと成長できる環境を作っていきたい!!
人とつながる力を育み、学校が児童にとってホッとする場となることで、問題行動の未然防止や不登校対策にもつながっていく。